（様式１）

平成２９年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) ０８７	**提案機関名**	横浜市漁業協同組合

要望問題名

タチウオ資源調査

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】

近年、シャコやマコガレイの漁獲量の減少から、アナゴ網やタチウオ網などを使って多様な魚介類を漁獲するようになっている。そのなかで、最も依存度の高いタチウオは、生態や資源量についてよくかわっていないと聞いている。タチウオの漁獲量の増減は、漁家経営に大きな影響を与えることから、漁業者は今後の資源状況を気にしている。

そこで、東京内湾で漁獲されているタチウオの生態や資源状況についての調査及び小型機船底びき網漁業協議会等での報告をおねがいしたい。

解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内（選択）　③４～５年以内　④５～１０年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター　②畜産技術センター　③水産技術センター（選択）　④自然環境保全センター

備　考

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	**担当部所**	栽培推進部

対応区分	①実施　②実施中（選択）　③継続検討　④実施済　⑤調査指導対応　⑥現地対応　⑦実施不可

試験研究課題名　（①、②、④の場合）

東京湾の重要水産資源の資源構造の解明

対応の内容等

タチウオは、シャコやマコガレイの資源低迷が続く中、小型底びき網漁業における重要度は増していますが、そのほかの漁業や遊漁での漁獲もあり、東京湾周辺において高度に利用される資源であると認識しております。昨年度のシャコの浮遊幼生調査において、タチウオの卵・仔魚が混獲されたことをきっかけに、今年度より標記研究課題を設定し、東京湾周辺海域での本種の産卵、成長、回遊、漁獲加入、成熟といった資源構造把握のための情報収集と解析を開始することを、小型機船底びき網漁業協議会総会で表明したところです。この調査の経過は随時、当該協議会等で報告を行う予定であり、最終的には、本種の資源利用のあり方についての提言を目指します。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内（選択）　③４～５年以内　④５～１０年以内

備　考